



神奈川県 令和8年度子ども支援交流会

KANAGAWA

県央地区で考えよう！

子どもたちの**ホッ**とで**HOT**な支援のカタチ

7月24日(金)

15:00~17:30
(14:30受付開始)

アリオ橋本 2階 HASHIMOTO BASE ROOM B
(相模原市緑区大山町1番22号)

定員：60名<参加無料>
※定員になり次第締切

申込：二次元コード▶
またはURLから

<https://forms.gle/bDvJgFz86kpTNqBm6>



プログラム

取組事例共有

15:05 - 15:35

取組事例① 株式会社ママモ 岩本 李菜 氏

子どもたちが安心して立ち寄り、大人たちと笑顔で交流できる『居場所』を目指し、地元企業や地域住民の協力を得ながら令和8年4月に駄菓子屋「おやつ屋ママモ」を相模原市緑区でオープン。

取組事例② 大浩グループ 秋月 智佳 氏／西野 陽子 氏



製造工程で生じたケーブルやコネクタ等の廃材を利用し、自分だけのオリジナルロボットを作る「ネジロボ」活動に取り組む。あえて作り方は決めず、材料もランダムに提供することで個性を育む活動を目指している。

グループワーク・自由交流

15:45 - 17:30

地域には、子どもたちがワクワクする体験や人との出会いがたくさんある。では、それをもっと子どもたちに届けるにはどうしたらいいだろう？

絵本づくりのワークシートを使いながら、参加者同士で自由に発想し、新しいアイデアやつながりを生み出します。終了後は自由交流の時間もあります。

主催：神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部 次世代育成課

運営：一般社団法人はてなボックス 問合せ先：info@hatenabox.jp／080-1358-5429(事務局竹川)

